



## くっちゃんふうどかん い 倶知安風土館に行きました！

くっちゃんふうどかん 倶知安風土館では、くっちゃん しぜん ちけい れきし 歴史について、ふか し 深く知ることができます。今回は地域おこし協力隊のメンバーで風土館に行きました！

## おだぎり おも 小田桐さんのアツい思い

がくげいん おだぎりりょう 学芸員のおだぎりりょう小田桐亮さんが協力隊の4人を案内してくれました。  
「倶知安のパウダースノーはどうやって作られるの？」など、倶知安の雪の秘密や地形を大きな地図の上で丁寧に説明してくれました。  
小田桐さんは青森出身で、倶知安の豊かな自然に魅了されています。夏には倶知安の山で虫を捕まえて標本を作るそうです。  
気になることがあったら、小田桐さんに質問してみてください。きっと、親切に教えてくれます！  
ふうどかん 風土館に行ったら、もっと倶知安を好きになるかも！



おかもと 岡本 (倶知安観光協会)

エゾシカやキタキツネなど、まるで生きてい  
ような動物がたくさんいます。この動物たちは、  
はく製です。交通事故などで亡くなったものに  
特別な加工をして作られています。

また、落ち葉も腐らないように特別な加工をし  
ています。よく見ると、落ち葉の表面がツルツ  
ルしていますよ。風土館で働いているスタッフ  
のみなさんが、お客さんがよく見られるよう  
に、細かいところまでこだわっているんですね。



みさき 三崎 (倶知安観光協会)

この魚はイトウという魚で、とても珍しい  
魚です。

このイトウはずっと昔、町の人が釣りました。  
イトウはとても珍しい魚ですから、家の  
宝物として長い間、その人の家に飾られていま  
した。その家族が、風土館にイトウをプレゼント  
したのです。そして今、風土館で大切に守られ、  
私たちのように見にくるひとがいます。

私は、町の文化を大切に守り、みんなに知ら  
せる風土館の役割にとっても感動しました。



くりはら 栗原 (空き家・移住定住)

風土館の入り口のすぐ横に、昔の町の写真が  
あります。機械での除雪が始まる前は、雪道の高  
さは屋根にも届くくらいだったそうです。当時の  
暮らしの大変さが伝わってきます。

現在の倶知安には、「くっちゃん型住宅」と  
いう基準があることを知っていますか。倶知安の  
雪や町の景色、住みやすさを考えた家のことで  
す。町を歩くときは雪がとても多い倶知安でも住  
みやすい「くっちゃん型住宅」を探してみてください！



さとう 佐藤 (にほんごサロン「にこちゃん」)

歴史展示エリアは、昔の倶知安の暮らしを知  
ることができて、新しい発見がたくさん。

こんなものを見つけました。「とっくり」で  
す。ペットボトルがなかった時代は、お店でこの  
容器にお酒やお醤油を入れてもらっていたそうで  
す。この容器に書いてある「中村」というのは、  
雑貨屋さんの名前です。お客さんはこれをもっ  
てお酒やお醤油を入れに行くので、お店の宣伝に  
なります。昔の人たちの暮らしがわかります  
ね。

書いた人 : 倶知安町役場 地域おこし協力隊  
電話 : 0136-56-8001 メール : sousei@town.kutchan.lg.jp

